

民間活力による市有地を活用した地域振興策募集事業
(旧南房総市立長尾幼稚園及び小学校敷地内東側遊休地)に係る基本方針

1 プロポーザル方式の採用理由

旧長尾幼稚園及び小学校は、地域の学び舎・地域のシンボルであり、長くコミュニティの核となる施設として親しまれてきたが、少子化等により、平成 23 年 4 月、白浜小学校との統合により閉園閉校された。

当該敷地のうち約 8,740 m²については、閉園閉校後、地域振興に資する取組を対象とした公募型プロポーザル方式による選考を経て、平成 28 年 2 月、活用事業者が決定され、これまで不動産賃貸業や宿泊業、飲食業を中心に複合的な事業が展開されている。年間を通じて多くの来訪者や滞在者が創出され、新たなコミュニティが形成されるとともに、地域の賑わいや地域内における消費喚起が図られているところである。

今現在も未利用となっている当該敷地内東側の市有地 1042.97 m²については、本市における人口減少、少子高齢化、産業の活性化等の課題解決が必要な状況に鑑み、民間活力による地域振興策によって、交流人口や関係人口の増加策、市外企業等の誘導、地域課題の解決を含めた地域貢献に着眼した活用を図ることとする。

本活用策を実施する事業者の選定にあたっては、目的達成のための幅広い分野における豊富な知識や経験、創造力、技術力及び問題解決力に加え、継続的な運営能力や経営能力が求められる

よって、単に価格競争による事業者選定を行うのではなく、広くノウハウや実績等を有する事業者の提案を募った上で、最も優れた提案者を選定する必要があり、企画提案方式（プロポーザル方式）による選定が適当であるため、本方式によるものとする。

2 期待できる効果

民間活力による市遊休地の利活用により、交流人口や関係人口の増加策、市外企業等の誘導に加え、地域課題の解決等による地域経済の活性化に期待ができ、新たな財源確保に繋がる。

また、活用事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用することにより、広くノウハウ、技術、集客力、営業力などを備えた事業者を募った上で、総合的な評価により、優良な活用事業者を決定することができる。

3 事業スケジュール

民間活力による市有地を活用した地域振興策募集事業(旧南房総市立長尾幼稚園及び小学校敷地内東側遊休地)に係るプロポーザル実施計画のとおり

4 募集方法

民間活力による市有地を活用した地域振興策募集要領(旧南房総市立長尾幼稚園及び小学校敷地内東側遊休地)のとおり